

中型獣の侵入防止対策と捕獲

ノウサギ

侵入防止対策

ノウサギの侵入防止対策では、金網柵やネットを使用する。

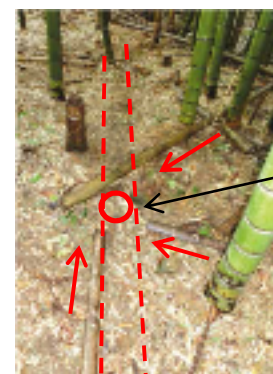
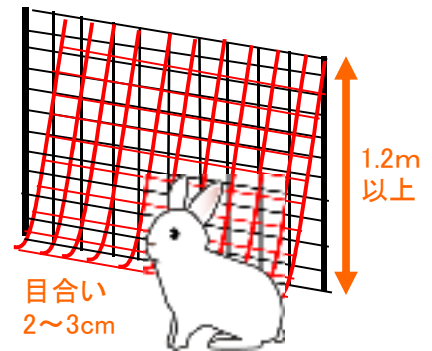
《留意点》

- ☆ノウサギは1m程度の跳躍力を有するため、高さ1.2m以上の防護柵を設置する。
- ☆幼獣の侵入にも対応するため、防護柵の目合いは、2~3cmの資材を使用する。
- ☆地際からの侵入を防ぐため、金網柵やネットは5cm程度埋設する。
- ☆既にイノシシ・シカ用の金網柵等が設置されている場合は、その資材にノウサギ用のネットを重ね合わせて設置し、ネットの下部は手前に垂らす。
- ☆ネット類を使用する場合は、噛み切られる恐れがあるため、ワイヤー入り資材を選定する。
- ☆被害が苗木など一部に限られる場合は、被害対象のみを資材で囲むことで資材コストが低減できる。

捕獲対策

ノウサギは、主にくり罠を用いて捕獲する。ノウサギは、イノシシやシカなどと同じ獣道を使うため、その獣道にくり罠を仕掛ける。くり罠の設置では、石や倒木などを利用し、ノウサギが足を置く場所を誘導する。

既存の金網柵にネットを重ね合わせる場合



ハクビシン

侵入防止対策

ハクビシンの侵入防止対策では、防風ネットと電気柵の組み合わせ、又は電気柵を使用する。

《防風ネットと電気柵》

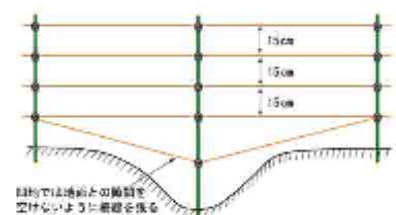
- ☆防風ネットを高さ80~100cm程度まで設置し、防風ネットの上部に電線を設置する。防風ネットの上部から電線までは5~7cm程度とする。
- ☆防風ネットの下部は埋設し、上部を外側に多少傾斜させ、たるませない。
- 《電気柵》
- ☆電気柵を3段張りで設置し、電線の間隔は15cmとする。
- ☆地面に凹凸がある場合は、右図のように支柱と電線を追加し、地際から電線までの間隔を15cmに保つ。

捕獲対策

ハクビシンは、中型獣専用の箱罠を用いて、イノシシなどと同様に餌で誘引して捕獲する。餌は被害に合っている農作物や果物を用いる。餌付け後、数日経過しても捕獲出来ない場合は、餌の種類を変える。



防風ネットと電気柵の組合せ
(埼玉農研センター)



電気柵の設置方法